

月刊

# アジアの友

MONTHLY The Asia-no Tomo

9・10

SEPTEMBER · OCTOBER

2009

JAFSA 中国学歴認証システムで変わる  
中国人留学生へのビザ発給と大学の留学生戦略



私費外国人留学生のための

# 大学入学案内

2010年度版発売開始！

留学生の大学選びは

この1冊にお任せください！



編集・発行：(財) アジア学生文化協会 発売：凡人社 ¥ 2,000 + 税

お問合せ：☎ 03-3946-7565 E-mail hoshi@abk.or.jp

# 月刊 アジアの友

2009年9・10月合併号 第478号

## 目次

- 2 巻頭  
JAFSA 中国学歴認証システムで変わる  
中国人留学生へのビザ発給と留学生戦略
- 7 インタビュー  
中国人留学生に聞く 日本留学へのカギ  
秦 思安さん
- 12 連載紀行文  
写真家・鎌澤久也のメコンのほとりで・・・(第15回)  
「麗江」
- 13 私の意見・私の体験  
「日本人は異性を意識しすぎ？」  
メイ スー シン ～ミャンマー
- 16 アジア・コミュニティ・センター21 よりフィリピン支援のお知らせ
- 17 News & Event
- 18 知友会通信 奨学金・イベント情報
- 20 MEMBERS ご入会・ご寄付のご報告(2009年7月・8月)

### <表紙作品>

シリアの首都ダマスカスの旧市街で、アイスクリームを食べながら、散策する女学生たち。

### ★表紙作者

常見藤代

(Mr. Fujiyo Tsunemi)

群馬県生まれ。大学卒業後、保険会社に3年間勤務の後、写真のテーマを探してアジア・アフリカを放浪。その過程でイスラム文化に魅せられ、エジプトでアラビア語を学ぶ。

以後、ライフワークとして、エジプトを中心とするアラブ・イスラム圏を取り続けている。

### <ブログ>

<http://plaza.rakuten.co.jp/fujiyo777/>

# JAFSA 中国学歴認証システムで変わる 中国人留学生へのビザ発給と大学の留学生戦略



留学生 30 万人計画達成の鍵をにぎるのは、現在も留学生の 6 割以上をしめる中国人留学生の動向であることに異論はないだろう。もっともこれまで中国からの留学生については、その学歴や卒業に関する証明書の真偽について、その判断が難しい状況が続き、入管のビザ発給率も非常に低いものとなっていた。この問題は長年関係者にとって頭痛の種となってきたわけだが、今回その種を取り除く処方箋となりうるのが、JAFSA（ジャフサ＝国際教育交流協議会）が開始する「中国学位・学歴認証システム登録制度」である。2006 年より（財）日本語教育振興協会（日振教）が日本語学校に提供してきたサービスを大学にも利用してもらおうというものだ。中国人留学生の数を倍増させる可能性を秘める本サービス提供開始を前に、当協会教育交流事業部長で JAFSA 中国認証評価検討プロジェクトのチームリーダーを務める白石勝己に、その概要について話を聞いた。

●まずシステムのことについて具体的に教えてください。

この認証システムは中国の認証機関である中国教育部学位与研究生教育发展中心（以下、CDGDC）から直接日本の大学に、卒業認証や学位認証、成績認証が送付されるというもので、中国の学位・学歴を効率的かつ確実に日本の各教育機関で確定できるようになります。

すでに（財）日本語教育振興協会が中国の教育部担当部局と交渉を進めて 2006 年から日

本語学校ではこの制度がスタートしていますが、入学時の学歴確認に加え、入管における在留資格認定審査でも非常に大きな成果を上げています。認証システムができる前の日本語学校では、一件ずつ卒業証書の発行大学に電話をして確認するということをしていました。また、中国で発行された様々な卒業証書を持ち寄って、どれが本物でどれが偽物か、真贋を見分けるスキルを身につける研究会も行われていましたが、そのような徒勞な作業が必要なくなったということです。

この日本語学校で行っていた制度を、今度は大学のほうでも利用してもらおうと言うことで、JAFSA を実施母体として大学をとりまとめ、CDGDC に日本語学校と同様に登録をして、直接学位認証を送ってもらうという制度です。

●大学のサービスにおいては JAFSA が日振教のような働きをするのでしょうか。

あくまで日本側の窓口は日振教で、JAFSA が取りまとめを行い日振教に CDGDC への登録をお願いすることになります。日本語学校と同じように、JAFSA で大学に登録コードをふり、CDGDC に通渡します。CDGDC はコード番号と学校名によって認証書類を大学等の登録先に送付するという事です。

●今回大学の登録を始めるにあたって、追加・改良される点などがありますか。

日本語学校の場合は、高校の卒業証書と卒業試験、大学入学統一試験の成績の3つのみを認証していました。それを今回、高等教育・中等教育のほとんどすべてのレベルで中国側は認証の発行を行うという約束をしてくれました。つまり、職業高中とか、中等专业学校、技工学校まで卒業しているかどうか、学位を取得しているかどうかの認証ができるようになりました。

特に大学にとっては日本で修士課程、博士課程に留学する人たちも多いわけで、中国の大学本科の卒業、学位、修士課程の学位、博士課程の学位、さらに大学の成績も全て認証できるようにするという事です。日本の大



学はほとんど全ての中国の学歴書類について疑義を持つ必要がなくなるということです。

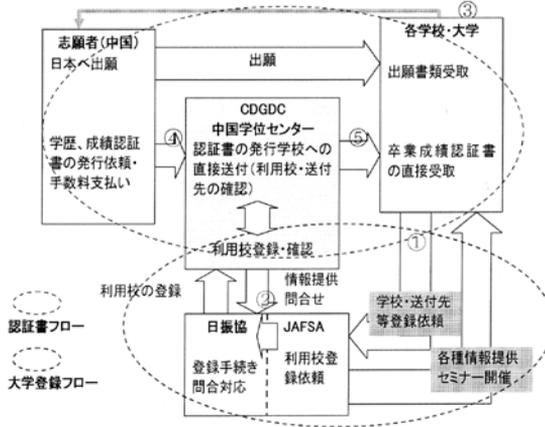
・対応する学位学歴認証

1. 中国高等学校（高中）の卒業試験成績（開考）認証
2. 中国高等学校（高中）卒業証明認証
3. 中国大学入試統一試験（高考）成績認証
4. 職業高中卒業認証、中等专业学校卒業認証、技工学校卒業認証
5. 中国の大学卒業、終了認証（大学本科、大学専科、修士、博士）
6. 中国の大学学位認証（学部、修士、博士）
7. 大学成績認証（学部、修士、博士）

●実際の登録についてですが、利用料を含めて教えてください。

JAFSA では初回の登録料6万円と年間の利用料として6万円を徴収します。送付先3登

## 【中国学歴認証システム フローチャート】



②・学は JAFSA-日振協を通じて CDGDC に認証送付先を登録します。

②CDGDC は各大学の登録番号を発行し、ホームページ上に大学名等を掲載します。CDGDC の登録を確認し JAFSA は大学に登録証を送付します。

③大学等は志願者に登録番号を提示し、学歴認証を CDGDC から大学へ直接送付するよう指示します。

④志願者(中国)は CDGDC へ出願大学等の登録番号を指定し、学歴等認証を直接送付するよう手数料を支払い依頼します。  
認証手数料 中国語1通 210 元  
英語1通 260 元

⑤CDGDC は志願者の申請により、学歴認証を指定された大学等へ送付します。

録まではこの金額内で行いますが、それ以上は1登録増えるたびに1万円を追加いただけます。大学の場合、キャンパスが異なるとか、学部、研究科によって試験制度が異なるということも考えられますので、複数の送付先を設定できるようにしました。この費用は、100大学くらいが参加してくればシステムの維持ができるのではと考えて設定したものです。ただ単に認証を送付するサービスを行うだけでなく、例えば中国から担当者に来てもらい、登録大学を対象にセミナーをやってもらおうといったことも考えています。

●認証を依頼する留学生も CDGDC に対して手数料を支払うのでしょうか。

学生はインターネットを通じて認証書の発行を依頼しますが、CDGDC に対して1件につき260元(約4000円)を支払わなければなりません。これは留学生の負担につながるの

で、合格した人についてのみ送付させるとか、大学が費用を負担して送付することはできるかなどの要望があります。その場合はどうやって決済をするかという点で若干技術的な問題が必要になってきます。現在のシステムでは、本人が卒業証明書や成績証明書を CDGDC に持ち込んで、認証を依頼しなければなりません。日本と中国ではプライバシーについての考え方も異なりますので、今後ともいろいろな問題をどうクリアするかということ、また学生の金銭的負担をなるべく少なくするにはどうすればいいのかといったことを考えていく必要があるかと思います。

●これまで2年間このシステムを日本語学校が利用してきて、何か問題のようなものは出ていますか。

申請してから認証書が日本に届くまで20日

天津大学  
Tianjin University  
MASTER ACADEMY RECORD

姓名: [REDACTED]  
学号: [REDACTED]  
院系: [REDACTED]  
导师: [REDACTED]  
入学日期: [REDACTED]  
指导教师: [REDACTED]

课程	学分	成绩	课程	学分	成绩
现代管理学	1.0	80	Modern Management	1.0	80
论文答辩	1.0	80	Defence of Thesis	1.0	80
英语听力	1.0	80	English Listening	1.0	80
英语阅读	1.0	80	English Reading	1.0	80
英语写作	1.0	80	English Writing	1.0	80
英语口语	1.0	80	English Speaking	1.0	80
英语综合	1.0	80	English Comprehension	1.0	80
英语听力	1.0	80	English Listening	1.0	80
英语阅读	1.0	80	English Reading	1.0	80
英语写作	1.0	80	English Writing	1.0	80
英语口语	1.0	80	English Speaking	1.0	80
英语综合	1.0	80	English Comprehension	1.0	80
英语听力	1.0	80	English Listening	1.0	80
英语阅读	1.0	80	English Reading	1.0	80
英语写作	1.0	80	English Writing	1.0	80
英语口语	1.0	80	English Speaking	1.0	80
英语综合	1.0	80	English Comprehension	1.0	80

天津大学  
Tianjin University  
Graduate School  
2009-11-02

教育部学位与研究生教育发展中心  
CHINA ACADEMIC DEGREE & GRADUATE  
EDUCATION DEVELOPMENT CENTER

认证报告  
CREDENTIALS REPORT

DATE: 2009-04-14  
FILE NO. [REDACTED]  
APPLICATION NO. [REDACTED]

TO WHOM IT MAY CONCERN:

This is to certify Ms. [REDACTED] (DOB: March [REDACTED]) Academic Records. Tianjin University/天津大学 is recognized as higher education institution by the Ministry of Education of China. Ms. [REDACTED] has completed her master program in Tianjin University from 2003 to 2006, and she has passed the examinations in prescribed courses with qualified records.

The attachments are included in the credential. NOTHING FOLLOWS

China Academic Degree & Graduate Education Development Center  
Edinburgh, United Kingdom  
www.cdgdc.edu.cn

認証例。左が大学発行の成績証明書。右が CDGDC 発行の認証書。割り印が捺してあり照合が可能

間かかるのですが、日本語学校の場合はビザの申請が厳しいだけでタイムリミットについてはそれほど厳しいわけではありません。しかし大学は受験のための出願書類として認証書を必要としますから、実際出願の締め切りに間に合うのかという不安はあります。ですから、なるべく受験で合格した人が提出する書類として、認証書を出してもらおうという形にすれば、学生も大学側も負担が少なくて済むのではないのでしょうか。これらのことは今後どのように利用していくのかというところで、しっかり考えていかなければいけないということです。

●日本語学校経由で大学に入学する場合もこれら認証書は必要とされるのでしょうか。

日本の日本語学校を経て大学に進学する場合

合は、一般的には既に日本語学校入学時点で認定を受けた学歴関係書類を提出しているはずですので、それで OK とするのか、あるいは大学受験時や合格時にもう一度認証書を提出するよう指示するのかという点は、各大学が実際にどう運用するかということになるでしょう。現在では日本語学校経由でなくても、大学院には多くの中国人学生が直接入学しています。大学院の修士課程に進学しようとする場合は、まず大学の指導教官に研究計画書などを送って、研究生として来日することが多いのですが、その時にきちんと学位・学歴の確認ができていないかどうか問題です。

●研究生であればビザが比較的簡単におりるということでしょうか。

研究生で入る場合は、ほとんどの場合試験

が必要というわけではありません。書類だけで研究生になり、その後修士課程に入学するための試験を受けるわけです。ある意味、大学院は直接入学許可と言えますし、研究生の期間が修士課程や博士課程の準備期間の役割を果たしているわけです。研究生としての入学を許可するのは、指導教官が研究室ごと、研究科ごとに学生の受け入れを決定しますので、学位学歴の真偽については、日本語学校で行われているほど、確定的に審査できている状態ではないような気がします。

●では、今回の制度によって日本語学校を経由せずに学部から直接入学してくる中国人学生は増加するでしょうか。

中国の場合は、規則上外国の大学が中国で直接入学試験をやることはできないことになっているそうです。そうすると、書類審査か日本での試験が必要となります。書類審査で学位、学歴ばかりでなく、成績なども確定的に見ることができるになれば、当然今まで以上に直接入学は容易になるはずですが。そういう意味では日本語学校がこのシステムを開発しておきながら、大学に提供するというのは、自分の首を絞めることになるかもしれません。ただ、目指すところは「留学生30万人」ですから、日本語学校経由ばかりではなく、大学等による直接募集、直接入学許可など、いろいろなチャンネルで留学生の募集経路を開発しないと、達成できない数字でしょう。

●いずれにしても大学側にとっては、ビザ申請に関わる手間が大幅に軽減され、これまで

以上に積極的に中国人留学生の受け入れを検討することができるということですね。

これまで本物かどうか、偽造ではないかという判断に時間をかけてきたわけですが、これが無くなるというのは関係者にとっては画期的なことだと思います。しかし、大学にとっては事務的な作業がひと手間多くなることですし、もともと中国の学歴証書の真偽についてそれほど意識をしていない大学もあります。また、なんで中国の学生だけ特別な書類を要求するのか、という疑問も出てくるでしょう。しかし、このような卒業証書などの真偽判断は中国の国内でも大きな問題となっていて、その対策として中国教育部が学生の就職先企業のために学生の卒業証書が本物かどうか、インターネットを通じた参照サービスを行っているほどです。日本で考えられる一般的な対応で対処できる問題ではないと考えてよいでしょう。

●どのくらいの大学がこのシステムを利用するでしょうか

利用してもらえるかどうかと言うのは、もちろん各大学の留学生受入れ状況や判断に依りますが、私たちが行ったアンケート調査では、JAFSA 会員である199大学のうち、およそ50の大学が早く参加したいという意思表示をしています。今後多くの大学に参加していただけるよう、各大学に働きかけていきたいと考えています。また、JAFSAの会員大学関係者によってさらに研究を重ねていただきたいと思っています。

(終)

# 中国人留学生に聞く・・日本留学へのカギ



立命館アジア太平洋大学  
アジア太平洋マネジメント学科3年生  
秦<sup>しん</sup>思<sup>し</sup>安<sup>あん</sup>さん (Ms. QIN Sian)

——— 中学校から日本語を学ばれていたそうですね。

私は上海外国語大学附属中学校（上海外国語学校）に入学し、そこで日本語科に所属していました。私が中学校に進学する当時の上海では、中学校は住居のある区域の学校に行かなければいけない決まりがあったのですが、上海外国語学校は特別な学校という位置づけで、受験がある代わりに上海市内に住んでいる人なら誰でも行く資格があるという学校でした。そういった意味で上海市内から優秀な学生が集まってきていました。クラスは日本語のほか英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ロシア語科があります。英語以外の言語科はそれぞれ10人の生徒が所属していました。

私はもともと英語以外の言語に興味はなく、選考分けの希望欄にも第一希望、第二希望とも「英語」と書いていました。

日本語科に決まった時、ショックを受けていたのは母の方で、入学を辞退させるかどうか悩んだようです。反面私の方は、「せっかく合格したんだからいいじゃない、英語も日本語も一つの外国語なんだから、どちらを学んでも違いはないと。」考えるようになっていました。今考えてみると、全然そんなことはないのですが（笑）

——— どのような学生が日本語を選んできましたか？

日本語科の学生は、だいたい第一希望か第二希望に日本語を選んだ人で、入学当初は私が一番日本語に興味を持っていなかったと



高校時代。クラスメート、先生と。(前列左から2人目)

思います(笑)。また初めから日本文化が好きだった人もいますが、勉強のために、日本語音声のまま日本のアニメや映画を見たりしているうちに、みな自然と日本のサブカルチャーに興味を持つようになっていきました。

実際にクラスには日本アニメの影響で日本語が上達した学生がけっこういました。日本語はあまり上達しなかったけど、アニメにどっぷりはまってしまった人も(笑)。英語クラスの学生にも日本のファッションやバンドが大好きな女子がいて、こういう人こそ日本語科に入るべきなのではと思ったこともありました。

私も日本のポップカルチャーは好きですが、日本語はあくまで学問として興味を持ち、一生懸命勉強したという感じです。

——— 特に日本語が面白いと感じたのはどのようなところでしたか。

日本語の文法は中国語の昔の文法に近いんです。私はもともと中国語の古典に興味を持っていたので、そうしたところはとても面白く感じながら勉強ができました。

ですから、高校に入ったら日本の古典、俳

句や短歌なども勉強してみたいと思ったのですが、受験勉強など、次々とやるべきことが入ってきて、なかなか取り組めず、そのまま今までできてしまったという感じです。

——— では、日本語の学習で難しいのはどのようなところですか。

「もらう、いただく、くださる、くれる、あげる、さしあげる」の勉強ですね(笑)。今はなんとなく大丈夫ですが、最初はなぜ一つの表現にこんなにいろいろな言い方があるのかと混乱しました。

また、未だに自動詞・他動詞は、はっきり判別できません。中国人だからとも思いますが、逆に自動詞・他動詞が上手なクラスメートもいますから、その辺は私の弱点かなと思っています。

——— 日本語能力検定試験は皆さん受験されるのですか。

日本語能力検定試験は高校1年生の時に全員が1級を受けます。基本的には高い点数で全員パスします。

——— では10人のうちのどのくらいの方が日本に留学しましたか。

最終的に高校を卒業したのは8人ですが、日本に留学したのは私1人だけでした。そのほか日本語を専門として中国の大学に進学した人は3人でした。

それ以外の専門を選んだ人でも、交換留学で日本に来る学生はいますから、そういった人たちは中国で学部を終えたあと、大学院で日本に来る可能性は高いですね。

——— 日本留学を検討したのはいつ頃からですか

高校3年生になってからでしょうか。まず

留学したいという気持ちがあって、それなら日本語を勉強したので、日本に行かなければという感じです。英語を勉強すると英米以外でも英語圏の国に行けますが、日本語を勉強した人はいろいろな意味で日本に行くのが一番ですから。

ただ当時は小泉首相の時に、日中関係が冷たい時期にありましたから、みなある程度その影響は受けたと思います。つまり、日本に行く、あるいは日本語科の学生であるということにコンプレックスを感じる時もあるわけですね。

——— **他の言語と比較してのコンプレックスですか。**

そうですね。コンプレックスの原因には政治的な事情以外のこともあります。例えばドイツ語やフランス語の場合、日本語能力検定のような国が認定する語学検定で良い成績を取めることで現地の大学への道が開けますし、アメリカの大学は申請・入学に関する情報が豊富でわかりやすい。日本だけ行きにくいというイメージがある。実際クラスメートの中には、1級を持っていても行くチャンスがない、行くルートがわからない、行っても半年間日本語学校に通わなければいけないという

ことで、日本留学を積極的にイメージできず、留学を諦めてしまう人もいました。

そういった理由から、日本語科の学生でも中国の大学に行きたい、あるいは日本語を止めて英語をはじめると、日本語以外の道を選ぶ人も少なくないんです。

——— **それでも秦さんは日本に留学しました。**

私も英語はがんばれば何とかかなと思いましたが、やはり7年間日本語を勉強した私たちの強みは、間違いなく英語ではなく日本語ですよ。

それに上海の人、特に女性はけっこうリスク回避型なので、チャンスを逃すとそのまま上海をずっと出ない可能性も高い。だから今、この機会に日本に行こうと決意したんです。

——— **ご家族の反応はどうでしたか？**

両親は上海にいてほしいと言っていました。上海外国語大学は中国では名の通った良い大学ですし、何より親としては身近に娘がいるのと、海外に行ってしまうのでは大違いですから。

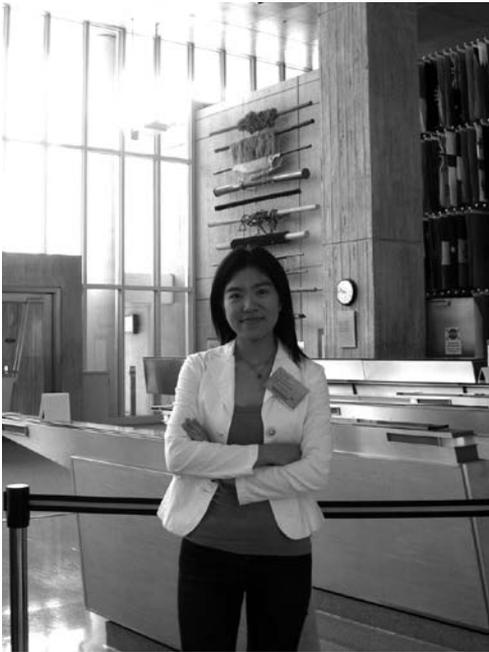
——— **秦さんご自身はAPUに行く不安はありませんでしたか。**

そこしか選択肢が無かったので(笑)。APUは以前から私たちの学校に来て積極的に宣伝をしていましたから、日本語科の学生ならば誰でも行けたと思うのですが、まだ歴史の浅い若い大学だったので、みなちょっと心細いと感じていたようです。

私がAPUに行ってもいいと思った一番大きな理由は、入学選考に合格した時点で学校の奨学金を受けられることが決まったことでした。ほとんどの日本の大学は入学後の成績を見て受給が決まることが多いようですが、やはり先に決まっているというのは安心です。それ



APUの合唱サークル MUSI TONEの仲間と  
(前列左から2人目)



世界銀行のフィールドスタディで訪れた  
ワシントンD.C.で

から手続きが簡単であるということ、ビザ取得に関するサポートが良いということもポイントでした。ビザは本当にあっという間におりましたから驚きました。また、英語を学ぶチャンスが多い、同じ授業を日本語と英語で受講できることも魅力でした。

私はもともとアジア太平洋地区が持っている魅力、潜在力に惹かれていましたから、アジアのトップを走ってきた日本に留学して、さらにアジア全域の留学生たちと仲良くできれば、将来私が活躍できるステージが、どこか1か国だけではなく、アジアと言う大陸に広がるだろうと思ったんです。欧米人から見れば、中国人であろうと日本人であろうと、すべて“Asian”ですよ。ですから“アジア人”として、アジア太平洋地区で何かやってやろうという抱負でAPUに入学してみようと思っ

たんです。この点ではAPUはたいへん魅力的な留学先でした。

実はもう一校、早稲田大学も私たちの学校に来ましたが、選考基準は日本語ではなく英語ができることでした。早稲田が日本で有名な大学でも、英語科の本当に優秀な学生はイギリスやアメリカ、シンガポールに行ってしまう。結局、早稲田とはそういうレベルの学生が行くところ、というイメージを持たれてしまうのは、長期的にはマイナスになるのではないのでしょうか。

(※その後2008年度から早稲田大学は5つの学部が日本語科の学生を対象に選考を行い、3名が合格したそうです。)

——— 実際に来日してみて、大学はいかがでしたか。

大学が大分の別府にあるということはおわっていたのですが、日本と言えば大都会、東京のイメージが強いですので、実際に来てみて、日本にもこんなところがあるのかという驚きがありました。でも騙された、帰りたいということはありませんでした(笑)。もちろん東京や大阪の大学に行きたいという思いはありましたが、別府であれば生活費も安くすみますから、そこはメリットとして考えました。

またAPUはほかの九州の大学と比較してキャンパスが広く、設備も一流だと思います。学生のためにお金を惜しまないといいますが、パソコンソフトも新しいOSやソフトが出るとすぐに更新されますから、そういったサービスの良さにはいつも感心しています。また、それ以上にAPUは留学生に対するサポートが充実していて、その辺は本当に感謝しています。

——— 留学生はどのくらいいるのでしょうか。

日本人学生と留学生の割合はほぼ半々です。

留学生はアジア出身者が多くて、韓国、中国、台湾、ベトナム、インドネシア、モンゴル、マレーシア、タイ、インド、スリランカ、カンボジア、ミャンマー、バングラデシュなど、世界80以上の国（地域）の学生が在籍しているそうです。

講義は一部の授業を除いて同じ内容のもので英語と日本語であり、学生が選択して受講することができます。履修上は、同じ授業を英語と日本語で採るのは不可能ですが、聴講はできますから、例えば英語力向上のため、英語講義を履修しているけど自信がないという人は、まず日本語版を聞いてから、英語版を受けることができます。そういう発想は非常にすばらしいと思います。

また、大学の名前もそうですが、授業にも「アジア太平洋学」というものがあり、アジアの大学、アジア人としての位置づけを明確にしているという点も先進的で将来性のあるものだと感じています。

——— 中国人の日本留学については、どのような期待をもっていますか？

素直に日本で学びたいと思った学生が政治情勢に影響されずに日本で学べるようになることを期待していますが、それは甘い考えかもしれません。どちらかというと私は少数派で、実際に反日感情が高いときに、日本語を学んだり日本留学を選んだり、というのは勇気があるでしょうから。

ただ、日本の政権も変わりましたが永遠のリーダーはいませんよね。人は変わるものだから、人の集まりである国も当然変わるはずで、そうした意味では、周りの変化に左右されずに、自分の道を選ぶことが大事なのだと思います。私の場合、せつかく7年間日本語の勉強をしたのに、その時その瞬間の「反

日ムード」に人生を左右されなくなかったということですね。

——— 具体的な面で日本の大学はどのようなサービス、努力をすべきと思いますか。

英語で履修できるコースが増えれば、今より来日する留学生は増えるかもしれません。でもそれが欧米人を対象としたようなものであればアジアからの学生は定着しないのではと思います。単に英語で学べればいいというのではなく、APUのようにその位置づけを明確にするべきなのではないでしょうか。それは簡単なことではないと思うのですが、ただ国際化と言うだけでは留学生の気持ちをつかむのは難しいと思います。

また、中国人が日本の大学の学部を目指す場合、すでに日本語力が十分な学生であっても、日本語学校を経由しなければならず時間がかかります。その問題が解決しないと、中国で日本語を学んでいる学生のコンプレックスは消えないでしょう。これは政策的な問題もあると思うのですが、こうした点が解消されれば、学部から日本を目指す学生は増えるのではと思います。

私にはAPUしか選択肢が無かったのですが、日本に留学したこと、この大学に来たことを後悔したことはありません。来日前は不安はもちろんありましたが、若いうちにリスクを取らないと損をしてしまうと、発想転換をしましたから。でも選択肢が多いに越したことはありませんよね。

——— 貴重なお話をありがとうございました。

こちらこそ。貴誌のご発展を心からお祈りいたします。

(終)

# メコンのほとりて。。

## 十五、麗江

小高い丘に沿って木造の家屋が一寸の隙間もなく建ち並び、曲がりくねった石畳の路地が、迷路のように行き交う。そして路地に寄り添うようにクリークが流れ、軒下では年配の人たちがカード遊びや談笑にふけり、日がな1日のんびりと過ごしている。

ここは雲南省の西北部に位置する古都・麗江である。街は新市街と旧市街からなり、新市街はホテル、銀行、百貨店などが建ち並び、通日も整備され実に近代的だ。しかし、一步旧市街に足を踏み入れると、そこはまったく様相を違にしていた。2階建て3階建ての木造家屋が軒を連ね、まるで中世に迷い込んだような錯覚に陥る。擦り切れた石畳が歴史を物語り、生地のまま風雨に晒された木は哀愁をほらみ、それを労わるように幾度となく修復された家々々々。ナシ族の心の温かさが伝わってくるようだ。

長期逗留していたぼくは、この街と住民が気に入り、気がつくといつも旧市街で時間をつぶしていた。何するわけではないが、ぶらついているだけで不思議と心が和むのだ。座り込んで話

に熱中している人もいれば、水路で洗濯している人たちもいる。通りにはいつもニコニコ顔でヒマワリの種を売っているお婆さんもいて、顔見知りになったぼくが買いにいくと、いつもおまけしてくれた。



その麗江をマグニチュード7.0という大地震が襲ったのは1996年2月のことだった。明代からの街並を生かし、「古都・麗江」として世界にアピールして、観光に力を入れようという矢先のことだ。地震に耐える頑丈な

ものに作り替えるか、それとも復元しようか、住民たちは大いに迷った。普通は安全をいちばんに考える。ところが出た答えは復元だった。それはすでに建っている近代建築も取り壊し、3階建て以上は認めないという徹底ぶりだ。それが効を奏し1997年に、麗江はユネスコの世界文化遺産に登録された。街全体が生きた博物館として再出発したのだ。

世界遺産に登録されてから再度訪れてみると、街が見違えるようにきれいになっていった。高級ホテルが何軒も建ち、土産物屋やレストランが軒を連ね、旧市街の中心でかつて市場だった「四方街」というところは、完全な広場になり、ナシ古楽という民族音楽も、観光相手に毎晩演奏されている。それに加え、背後に聳える玉龍雪山には、ロープウェイで登れるようになっていた。いまや雲南省第一の観光スポットになったのである。

〈写真〉麓の波がつづく旧市街。この下でナシ族は何百年という歳月を過ごしてきた。その歴史は建物や人びとから感じ取ることができる。

かまざわきゆうや・・・(社)日本写真家協会(JPS)会員、駒澤女子大学非常勤講師

中国雲南省を中心にアジアを撮り続ける。近年はメコン川、長江など、川をテーマにそこに暮らす人々に焦点を当てている。「メコン街道」など写真展を多く開催。著書に『雲南最深处への旅』(めこん)、『メコン街道』(水曜社)等

# 日本人は異性を意識しすぎ？

メイ スー シン (Ms.May HSU SHIN) ~ミャンマー

信州大学 工学部 建築学科2年生

## ミャンマーから日本留学

子供の頃からなんとなく日本が好きでした。具体的にこれが好き、というものがあつたわけではないのですが、日本のテレビドラマの影響は大きかつたかもしれません。ドラマは10年くらい前に韓国製のものに変わってしまいましたが、それでも“日本が好き”という気持ちは変わりませんでした。

日本に留学することを考えたのは高校生になるころです。日本は「発展している」というイメージとともに、「地震が多い」というイメージがあります。私は建築関係の仕事をしていた父の影響で、将来は設計士になりたいと考えていたので、地震がとて多いのには高層ビルをどんどん建ててしまう、日本の建築技術を学んでみたいと思っていたんです。

ただ、私の家族には親戚を含めて海外に留学した人はいな

いので、その第1号が女性である私になるのは難しい雰囲気がありました。ですからまずは日本語を学ぶためにヤンゴン外国語大学の日本語学科に入学しました。

留学のことを家族に言い始め

かってもらおうと努力しました。そして通っていた日本語教室を通して岩国財団の奨学生に選ばれた時、初めて日本に行つてもいいと言つてもらえたんです。

コミュニケーションギャップ？



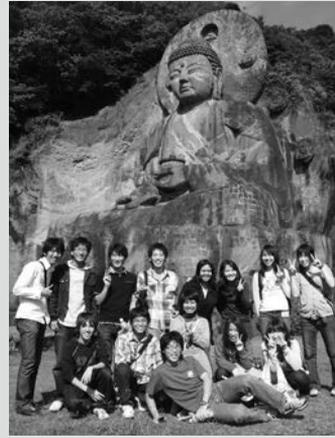
東京の街はテレビや本で見ていた通りで大きなカルチャーショックはありませんでしたが、電車が多くてどこにでも行けること、自動販売機が山の中にまであるのは、想像以上で驚きました(笑)。また原宿や秋葉原にはコスプレをしている人がたくさんいますが、それはミャンマーではありえないことですから軽いショックはありましたね(笑)。

たのは大学2年生になった頃からです。父は根性がない人は認めてくれないので、とにかく日本語をがんばって実力をつけ、自分本気だということをわ

でも一番戸惑つたのは、“日本人の本音と建前”です。私から見ると、政治の世界のように日本人は言うこととやる事が矛盾しているように感じます。また自分の気持ちを表現する時



サークルのスキー合宿で（右2人目）  
長野の雪、最高！



奨学財団の合宿で奨学生仲間と

の曖昧さも難しいところです。相手のことを考えて、遠慮しているのはわかるのですが、時々はっきり言ってくれないと困る！という時もありますから（笑）。

以前交流会で知り合った人に、ぜひ家に遊びに来てと誘われたので、ある日突然遊びに行ったのですが、本当に来たの？という顔をされました。約束無しで行ったのが良くなかったと思うのですが、ミャンマーではそれはごく当たり前のことなので・・・。

学生同士のコミュニケーションでもよくわからないと感じることはあります。例えば、学期初めなどにはクラスの飲み会があって、私はお酒を飲めないのですが、みんなと同じテンションで参加できていると思っています。

そういった席で凄く仲良くなったと思っていた人が、次の日ちょっと冷たかったり、事務的だったり、前日と態度が違う

ので、どうして？という気持ちになります。相手は男の子に多いのですが、そういうことが一度あると、次にまた話するとき、どう話したらいいかわからない。どのくらいの距離感で接すればいいのかわからなくなってしまうので、本当にそれは困ります。

ミャンマーでは仲良くなる人とは会ってすぐに仲良くなる。そこには男女の壁は感じません。日本では異性間の壁がありますね。私の大学のクラスは53人のうち女生徒は11人だけですが、教室でも女性は後ろの方に固まっています。前に座っている女性は留学生の私と社会人入試で入った人だけです。これも日本文化なのかなと思う反面、不思議だなと感じるところです。

また、一般の学生の中には外国人と話すことに抵抗を持っている人もけっこういて、そういう人とは当然ですが、コミュニケーションはとりに

くいですね。向こうからはあまり喋ってこないし、話しかけても「はい」「いいえ」だけで終わってしまう。

ただそれは、時間が解決してくれるものだと思います。いつかみんなが私を留学生としてではなく、同級生の一人と思ってくれるようになれば、壁は無くなっていくだろうって。だからあまり気にはしていません。

#### 日本とミャンマー 大学の違い

私は日本とミャンマーの大学しか知りませんが、日本の大学は教養科目がたくさんあって、自分が好きなものを選んで学べるのがいいですね。専門以外でも興味を持ったことを学べるというのは素晴らしいチャンスだと思います。

また、様々な部活やサークルがあるのもミャンマーとは違うところです。私は今、国際交流サークルに入っていますが、そ



留学生研修旅行で訪れた草津にて



留学生作文コンテストで優秀賞を受賞

ここに所属する日本人学生は留学生に関心を持っている人たちばかりで、留学生の文化を積極的に知ろうとしてくれる、わかろうとしてくれるのでごく話しやすい。みんなで旅行に行ったり、食事をしたり、友達もたくさんできました。

また、サークルの仲間とは、普通のクラスメートよりも、もっと仲良くなれるような気がします。日本人は仲間意識がすごく強くて、誰かが困っていることも自分の問題として考えてくれる。そうした日本人の仲間意識の強さには感心します。講義のノートをお互いに貸し借りするのもサークルの仲間同士なら気軽にできますよね。私はほとんど貸すほうですけど(笑)。

逆にミャンマーの大学が日本の大学より素晴らしいのは、学生が一生懸命勉強しているということ。信州大学の建築学科はみんな真面目ですが、ほかの学科の学生の中には、単位をとるために出席が必要という理由だ

けで授業に来て、お喋りをしたり寝ていたりする日本人学生が大勢います。真剣に学びたい私たちにとって、それは本当に迷惑な行為です。

#### ミャンマー人の日本留学

勉強は大変ですが、日本での生活はゆっくりマイペースでできていて、とても気に入っています。何より自分がやりたいことができているというのが一番です。勉強も周りの人たちががんばっているのを見るとすごく刺激になりますし、休みの日には大好きな旅行にも自由に行けます。本当に今は楽しく大学生を送っています。

だからといって、全てのミャンマー人に日本留学を勧めることはできません。日本で学ぶには、もの凄い努力が必要で、中途半端な気持ちでは無理だからです。

例えば日本に来て、途中で帰りたくなる時が絶対に来きま

す。そうなった時、その苦しみをがんばって乗り越えて、最初に自分が日本でやろうと思ったことを最後までやり通せるか。

母国語ではなく、日本語で勉強するわけですから、ほかの日本人学生のように勉強できない時はあります。そこで自分は大めだと思い、だんだん学校に行くのが嫌になって、不登校になってしまう留学生もいるそうです。

日本語の資料を読んでレポートを書く作業は日本人の学生より時間がかかりますが、それは努力の差ではありません。最初からあるハンディであり、そうなるのは当たり前。でも、ついていけないことはありませんし、その差を縮めることは可能です。

苦しくてどうしようもない時が必ず来ることをわかった上で、最後までがんばる強い意志を持つこと。その自信が無い人は、日本に来ない方がいいですね。

## アジア・コミュニティ・センター21 フィリピン支援

### —台風16号“オンドイ”被災地への緊急・復興支援を日本NGO16団体と協力し開始—

フィリピン中部・南部とくにマニラ首都圏近郊では、台風16号（フィリピン名：オンドイ）により、甚大な犠牲者・被害が出ています。

排水・インフラ設備が脆弱なマニラ首都圏は80%が浸水、10月1日の時点で死者数277名、被災世帯数51万（被災人口250万人）、避難民約72万人のうち約39万人が561か所の避難所へ避難しています。避難所は支援物資の十分に届かぬ劣悪な衛生状況におかれています。とくに子ども、女性、年配者などの脆弱層が被害を受け、子どもは低血糖症、下痢、発熱に苦しんでいるとのこと。

国際協力NGOアジア・コミュニティ・センター21（ACC21、東京都文京区、代表理事：伊藤道雄）では、フィリピンで活動する日本の国際協力NGO16団体のネットワーク「日比NGOネットワーク」（JPN）と協力し、救援・復興支援を開始しました。10月14日以内に集まった募金額は物資配布等の緊急救援に、それ以降は復興支援を中心とした活動に充てる計画です。支援対象の選定は、現地国NGOのネットワーク「比日NGOパートナーシップ」（PJP）から情報収集を行い、現地NGOとも協議のうえ決定いたします。

ACC21では今後、現地NGOから届く現地情報・復興状況を「フィリピン台風“オンドイ”救援・復興支援ブログ（<http://ameblo.jp/jpn-typhoon-acc21/>）」に随時掲載いたします。

1人でも多くの被災者を助けるため、1日でも早く被災者が元の生活を取り戻すため、いま、皆さまのご協力が必要です。緊急募金のご協力を、よろしくお願いします。

<http://ameblo.jp/jpn-typhoon-acc21/>

#### ■緊急募金を受け付けています

銀行名：ゆうちょ銀行 金融機関コード：9900 店番：019

店名（カナ）：〇一九店（ゼロイチキキウ店）預金種目：当座 口座番号：0281233

カナ氏名（受取人名）エーシーシーニジュウイチキンキウフツコウシエン

#### ■日比NGOネットワーク（Japan-Philippines NGO Network：JPN）

フィリピンにおいて貧困削減、環境保全、人権の擁護等の活動に取り組む日本のNGOネットワーク。2009年現在16団体と3個人が参加しています。

<参加団体一覧>

2050／アジア学院／ACTION／アジア・コミュニティ・センター21／アジア・コミュニティ・トラスト／アジア保健研修所／オイスカ／カバティ／金光教平和活動センター／ジョイセフ／日本ヌエバエシハ・ファウンデーション／ピラールの医療と自立を支える会／フィリピン日系人リーガルサポートセンター／プラン・ジャパン／フリー・ザ・チルドレン・ジャパン／LooB JAPAN

#### ■比日NGOパートナーシップ（Philippines-Japan NGO Partnership:PJP）

フィリピン国内の貧困削減、社会開発等に取り組み、一方、日本のNGOとの協力関係の発展をめざす現地NGOのネットワーク。2009年現在、18団体が参加しています。

#### ■このリリースに関するお問い合わせ先

アジア・コミュニティ・センター21（ACC21） 担当：西島恵、阪口裕樹

TEL 03-3945-2615 / FAX:03-3945-2692 / [info@acc21.org](mailto:info@acc21.org)

# News & Event

## 第3期 東アジア若手日本語教師派遣プログラム（前期）

東アジアを中心に増加する日本語学習者の需要に応えるため、大学で日本語教育を専攻した日本の学生等を、東アジア諸国等に派遣し、現地日本語教育機関で日本語教育等に従事してもらいます。それにより、現地青少年の対日理解を促進し、将来に向けた親日層の基盤作りを行うと同時に、日本の若者の国際理解の増進を図るプログラムです。

<派遣期間・時期> 平成22年上半年期から順次派遣開始します。（派遣期間：10ヶ月程度）

※派遣開始時期は、国によって異なります。

<主な派遣予定先> 次の国で日本教育を行う教育機関に派遣します（予定）。フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム、ラオス、インド、カンボジア ※現地の治安情勢等により、派遣予定国は変更の可能性があります。

<採用人数> 30名程度（予定）

<応募方法> 提出書類：イ.応募用紙1部（原本） ロ.推薦状1部（原本）（和文もしくは英文）

<提出先> （社）国際交流サービス協会 人材事業部 〒100-0013 東京都千代田区霞ヶ関 2-2-1 外務省別館

<提出締め切り> 平成21年12月14日（水）必着（郵便のみ受付）

<問合せ先> 社団法人 国際交流サービス協会 人材事業部 JENESYS 担当 〒100-0013 東京都千代田区霞ヶ関 2-2-1 外務省別館 E-mail:jenesys-i@ihcsa.or.jp ※電話でのお問合せは、受け付けておりません。

<詳細情報> <http://www.jpj.go.jp/j/japanese/new/0910/10-01.html>

## カンボジア大型影絵芝居「スバエク・トム」

遺跡で名高いアンコール地方に伝わり、古くは仏教寺院の祭礼などで上演されてきました。演目はヒンドゥー叙事詩「ラーマーヤナ」のカンボジア版。遣い手が語り手と伝統楽器のアンサンブルを伴い優雅な身体さばきとともに魅せてくれます！

<会期> （伊丹）11月15日（日）14:00、（仙台）11月17日（火）、（川崎）11月21日（土）、（東京）11月26日（木）、11月27日（金）

<主催・問合せ> 現代人形劇センター tel.044-777-2228 / fax 044-777-3570

<詳細> [http://www.puppet.or.jp/puppetArchives/entryarchive/\\_part15\\_2.html](http://www.puppet.or.jp/puppetArchives/entryarchive/_part15_2.html)

## 第10回 東京フィルメックス

11月21日から29日まで開催される映画祭「第10回 東京フィルメックス」。この映画祭は、作家の個性がハッキリしている、商業的というよりはアート系の作品が多いのが特徴。タイ、マレーシア、台湾、スリランカ、イラン、イスラエル、香港、韓国、日本の新進作家の10作品がコンペティション部門参加作品として上映されます。

<会期> 11月21日（土）～11月29日（日）

<会場> 有楽町朝日ホール、シネカノン有楽町1丁目、東劇、

<問い合わせ> 東京フィルメックス事務局 Tel.03-3560-6393 Fax.03-3586-0201

<詳細> <http://filmex.net/>



## しょうがくきんじょうほう 奨学金情報

### ■ (財) 東華教育文化交流財団

**対象:** 2010年4月1日現在、日本の大学学部  
の3～4年生もしくは大学院に在・入学する私  
費中国人留学生(香港、マカオ、台湾出身者を  
含む)。月額2万円を超える他の奨学金を受け  
ていないこと。

**給付金額:** 月額8万円

**給付期間:** 2010年4月より1年間(通算2年  
を越えない範囲で継続支給することがある)

**新規採用:** 10名

**応募:** 11月1日～30日。本人が直接申し込む。

願書はホームページからダウンロード可

**連絡先:** 〒104-0061 東京都中央区銀座8-2  
-12 東京華僑会館5F ☎03-3571-7613

URL [www.donghua.or.jp](http://www.donghua.or.jp)

### ■ (財) 本庄国際奨学財団

**対象:** ① 2010年4月1日以降に日本国内の大  
学院に留学している外国人留学生 ② 博士課程  
在籍者は1974年3月31日以降に生まれた者、  
修士課程在籍者は1979年3月31日以降に生  
まれた者 ③ 大学院卒業後、母国において勤務  
することを確約できる者 ④ その他の奨学金と  
の併願不可

**給付金額と期間:** 月額20万円を1年間～2  
年間、月額18万円を3年間、月額15万円を  
4～5年間(いずれも最終目標とする学位取得

までの最短期間とし、本人が選択できる。)

**募集人数:** 10名～14名

**応募締切:** 11月30日。本人が郵送で申し込む。

**応募必要書類**ほか詳細(ホームページ):

<http://www.hisf.or.jp/>

**団体連絡先:** 〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷

1-14-9 ☎03-3468-2214

e-mail [honjo-zaidan@mui.biglobe.ne.jp](mailto:honjo-zaidan@mui.biglobe.ne.jp)

### ■ (財) 高久国際奨学財団

**対象:** ① 2010年4月時点で日本の大学院  
博士課程在籍者で在留資格が留学の者 ② 東  
京、神奈川、埼玉、千葉に居住する者 ③ 日本  
語能力試験1級に準ずる会話力および文章力を  
有する者 ④ 月例会に必ず出席できる者 ⑤ 月  
末に400字のレポートを必ず提出できる者

**給付金額(月額):** 7万円

**給付期間:** 2010年4月から1年間(毎月手渡し)

**採用人数:** 6名

**応募締切:** 11月30日。本人が郵送で申し込む。

願書はホームページ(下記)からダウンロード  
可

**応募必要書類**ほか詳細(ホームページ):

[www.takaku-foundation.com](http://www.takaku-foundation.com)

**連絡先:** 〒106-0031 東京都港区西麻布4-17-4

☎03-5485-6080

e-mail [info@takaku-foundation.com](mailto:info@takaku-foundation.com)

## イベント情報

### がいこくじんりゅうがくせいむ しゅうしよく 外国人留学生向け就職フェア

がいこくじんりゅうがくせいむ かた さいよう にっけいきぎょう やく しゅぎんか しゅうしよく  
外国人留学生の方を採用したいという日系企業が約20社参加する就職フェアです。WEBサイトに  
どうろくいただ しゅってんきぎょう じぜん おうぼ とくてん がいこくじんりゅうがくせい さいよう  
登録頂くと、出展企業が事前にオンライン応募ができる特典もあります！ 外国人留学生を採用した  
きぎょう にほん はたら がいこくじんりゅうがくせい かたがた て あ きかい  
い企業と、「日本で働きたい」外国人留学生の方々が出会える、またとない機会です。

にちじ 日時：2009年12月19日(土) 11:00～18:00 (受付開始10:30)

かいじょう あきはばら かい 会場：秋葉原UDX(4階/UDX GALLERY)

アクセス：JR あきはばらえき でんきがいぐち より徒歩2分 とうきょう とうきょう ぎんざせん すえひろちよう ほんでぐち  
より徒歩3分

たいしやう にほん まな がいこくじんりゅうがくせい だいがく だいがくいん たんだい ざいせきちゆう そつぎょう がいこくじんりゅうがくせい  
対象：日本で学ぶ外国人留学生、大学・大学院・短大に在籍中または卒業された外国人留学生、  
こうかんりゅうがくちゆう がいこくじんりゅうがくせい にほんご えいご ちゅうごくご かんごくご たげんご  
交換留学中の外国人留学生、日本語、英語、中国語、韓国語、その他言語バイリンガルの方

もうしこみほうほう とうろく かんぜんよやくせい  
申込方法：WEBサイトから登録(完全予約制) <http://www.globalleadernavi.com/jp/>

もうしこみうけつけかかん  
申込受付期間：2009年10月1日(木)～2009年12月15日(火)

どうあわ 問い合わせ：就職フェア運営事務局 とうきょう とうきょう しぶや  
東京都渋谷区道玄坂1-10-5 渋谷プレイス10F

☎ 03-6690-7471 E-mail [jobfair@globalleadernavi.com](mailto:jobfair@globalleadernavi.com)

しゅさい かぶしがいしゅ  
主催：株式会社 ペインキャリアージャパン e-mail [kikaku-koho@seminarhouse.or.jp](mailto:kikaku-koho@seminarhouse.or.jp)

## がいこくじんむ そうだんかい 外国人向け相談会

がいこくじん せんもんかそうだんかい とうきょう  
外国人のためのリレー専門家相談会(東京)

とうきょうとこくさいこうりゅういんかい とうきょうとがいこくじんしえん にほん す がいこくじん ねん  
東京都国際交流委員会と東京都外国人支援ネットワークは日本に住む外国人のために、2002年から  
まいとしがいこくじん せんもんかそうだんかい かいさい  
毎年外国人のためのリレー専門家相談会を開催しています。こればでに2300人を超える方におこし  
いただいています。一人で悩まずにぜひ相談にきてください。おまちしています。

にちじ <日時> 11月14日(土) 13:00～15:30

かいじょう <会場> なかのZERO 西館(JR中央線 中野駅)

しゅさい とうあわ なかのくこくさいこうりゅうきょうかい ☎ 03-5342-9169  
<主催/ 問い合わせ> 中野区国際交流協会

にちじ <日時> 11月29日(日) 14:00-16:00

かいじょう <会場> 調布市文化会館たづくり12階 大会議場(京王線 調布駅)

しゅさい とうあ ちやうふしこくさいこうりゅうきょうかい ☎ 042-441-6195  
<主催/ 問い合わせ> 調布市国際交流協会

しやうさいじやうほう  
<詳細情報> [http://www.tokyo-icc.jp/relay\\_soudan/index.html](http://www.tokyo-icc.jp/relay_soudan/index.html)

## あーすぷらざ外国人教育相談 (神奈川県)

日本での外国人教育に関する様々な相談を外国語で受けられます。本人や保護者だけでなく学校や外国人支援者からの相談も受けられます。相談はすべて無料、秘密厳守。

〈対応言語〉 木曜日・・・中国語・やさしい日本語、金曜日・・・スペイン語・やさしい日本語、日曜日・・・タガログ語・やさしい日本語

〈相談時間〉 14:00～17:00 (16:30 受付終了)

〈場所・電話〉 あーすぷらざ2階・情報フォーラム (JR 根岸線「本郷台駅」下車)

〈連絡先〉 中国語・スペイン語・タガログ語 ☎ 045-896-2972 日本語 ☎ 045-896-2970

FAX 045-896-2894 (※ FAX の返信には、時間がかかります)

〈問合せ〉 財団法人 神奈川県国際交流協会 ☎ 247-0007 横浜市栄区小菅ヶ谷 1-2-1

神奈川県立地球市民かながわプラザ 1階 ☎ 045-896-2626

## MEMBERS

### 〈ご入会とご寄付の報告〉

#### 2009年7月

#### 特別会員

(1口)

松平 吉世 羽生市区  
(株) ソフトネット 立川市

#### 賛助会員

(株) 日吉 近江 八幡市  
(財) 国際文化交流協会 新宿区

#### 正会員

(1口)

DR. HENG FU CHONG ドイツ  
黄 復翔 シンガポール  
今泉 雅勝 墨田区  
中田 政信 広島市  
近藤 清子 秩父市  
荒井 不二雄 小矢部市

西田 郁夫 足立区  
遠東国際貿易 (株) 豊島区  
齋木 史 足立区  
横浜市国際学生会館 横浜市  
藤原 一枝 武蔵野市  
増井 潤一郎 中野区  
(財) 三浦教育振興財団 松山市

#### ご寄付

栗原 静子 気仙沼市  
高畑 怜 北区  
齋木 史 足立区  
山口 憲明 日野市  
伊佐 玲子 下都賀郡

#### 2009年8月

#### 特別会員

(5口)  
(財) 海外技術者研修協会 足立区  
(1口)  
RONALD CHAO KEE YONG 香港  
小峰工業 (株) 北葛飾郡

(株) アイデント 狛江市  
(株) シーボン 港区

#### 賛助会員

札幌大学国際交流センター 札幌市  
石川 毅/優子 北区

#### 正会員

(1口)

関 正昭 平塚市  
高橋 典子 横浜市  
永井 マス子 川崎市

#### ご寄付

栗原 静子 気仙沼市  
帆刈 礼子 比企郡

今月もみなさまの  
ご協力に感謝申し  
上げます。

## ご入会とご寄付のお願い

当協会は、政府の補助金を受けていない純民間運営の公益法人ですので、財源に限りがあり、皆様方からお送りいただく会費、寄付金は、本協会の活動を支える貴重な財源となっています。何卒ご理解、ご協力をお願い致します。

## 協会のあらまし

名称：財団法人アジア学生文化協会

ASIAN STUDENTS CULTURAL ASSOCIATION  
(ASCA)

所在地：東京都文京区本駒込2丁目12番地13号

代表者：理事長 小木曾 友

設立：1957年（昭和32年）9月18日  
故穂積五一氏創設

目的：日本とアジア諸国の青年学生が共同生活を通じて、人間的統合と学術、文化および経済の交流をはかることにより、アジアの親善と世界の平和に貢献することを目的とする。

## ◇主な事業◇

- (1) 留学生宿舎の運営
- (2) 留学生日本語コースの運営（進学希望者向けの日本語を中心とする教育）
- (3) 留学生に対する情報提供支援
- (4) アジア語学セミナー、タイ語検定試験の開催
- (5) 帰国留学生のアジア文化会館同窓会、(社)日・タイ経済協力協会、ABK留学生友の会との連携・協力

## ◇会費（年額）◇

正会員 1口 1万円

賛助会員 1口 5万円

特別会員 1口 10万円

会員には広報紙「月刊アジアの友」が無料配布されます。また、広報紙購入だけを希望される方には、購読料年間3千円（学生2千円）でお送りしています。

本誌で広告してみませんか。

団体・企業を問わず、編集部へご相談ください。

日本留学生活に必要な最新のニュースを  
毎月届けます！

## ABK留学生メールニュース

ビザ手続き関連情報 医療・保険情報  
就職アルバイト情報 イベント情報  
各種試験情報 奨学金情報  
外国人相談情報 他

登録はWEBから

<http://www.jpss.jp>

### <お詫び>

本誌の発行が大幅に遅れ、読者の皆様にご迷惑・ご心配をおかけしたことをお詫びいたします。

なお誠に勝手ながら、今回478号を9・10月合併号とさせていただきます。これにより2010年2・3月合併号は2月号、3月号となり、各月発行となりますので、予めご了承をお願いいたします。

月刊 **アジアの友** 2009年9・10月号

2009年10月10日発行（通刊第478号）

年間購読（送料共）3,000円（学生2,000円） 1部 300円（税込）

発行人 小木曾 友  
編集 月刊アジアの友編集部  
発行所 財団法人 アジア学生文化協会  
東京都文京区本駒込2-12-13 (〒113-8642)  
電話番号：03-3946-7565/4121 ファクシミリ：03-3946-7599  
振替口座：00150-0-56754 E-mail: tomo@abk.or.jp  
ホームページ：(<http://www.abk.or.jp/>)

published by ASIAN STUDENTS CULTURAL ASSOCIATION  
(ASIA BUNKA KAIKAN)  
2-12-13, Honkomagome, Bunkyo-ku, Tokyo, 113-8642, JAPAN  
☎+81-3-3946-7565/4121 ☎+81-3-3946-7599  
Email: tomo@abk.or.jp  
Home Page: <http://www.abk.or.jp/>

「月刊アジアの友」の購読会員（年3,000円・学生2,000）にご入会下さい。振替用紙又は電話等にて。

